

都市公園整備事業【十府ヶ浦公園】

震災を経て、防災・憩い・賑わいの場を村民と協働で育む

参加
無料

村はこれまで幾度となく津波の被害を受け、被災後には住宅は海岸から離れるがいつしか海岸付近に戻る事を繰り返し返してきた。復興計画では将来にわたって災害に強いまちづくり「多重防災まちづくり」を掲げ、海岸からの緩衝地帯、津波エネルギーの削減、避難時間の延伸を目的に都市公園「津波防災緑地」を整備することにした。

この公園はポケット状の河川遊水地に似た大規模な公園であるが、緑地が多く、村民の憩いの場としての利用と、親しまれる公園、維持管理が容易で、将来、協働の作業で管理できる公園を計画した。計画策定に当たっては、村民の意見を伺い、特に行政に声の届きにくい小中高生、若者、女性の意見を反映するため、小中高生はWS(ワークショップ)を行い、若者、女性は計画策定の特別委員で参加いただいた。平成25年3月に事業認可を受けて事業に着手、平成29年6月に開園した。

公園の面積は約19ヘクタールと大きく、子どもたちの遊び場やイベント広場、休憩・展望の場、海浜活動の場など緑地が広く、特徴ある6つのゾーンから構成されている。

プログラム

開会挨拶 渥美公秀 大阪大学大学院教授

18:30 都市公園整備事業【十府ヶ浦公園】

講師：松本 良治氏

(野田村役場 復興むらづくり推進課 課長)

20:00 終了

講師紹介：松本 良治氏 (まつもと りょうじ)

○震災時 地域整備課長 (不明者捜索 ガレキ処理 ライフライン復旧 復興事業計画策定担当)

OH24. 1～地域整備課長兼復興むらづくり推進室長 (ガレキ処理 ライフライン復旧 復興事業計画策定担当)

OH24. 4～復興むらづくり推進課長

(復興事業計画策定及び事業実施担当)

OH26. 3 退職

OH26. 4～再任用 復興むらづくり推進課長

(復興事業実施担当)

(注) 写真の一部は野田村通信ブログから転載

主催：大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム

共催：大阪大学人間科学研究科附属 未来共創センター

後援：チーム北リアス、大阪大学野田村コミュニティ復興研究会

国立天文台震災復興データセンター

問い合わせ先

大阪大学野田村サテライト

住所：野田村大字野田 22-114-29

TEL：0194-75-4221

HP：http://www.respect.osaka-u.ac.jp/satellite-nodamura/

場所：野田村メンバーホープウイレッジ『ねま～る』

9月11日(月)

18:30～20:00